

教育の充実

全国学力・学習状況調査結果

小学校6年生と中学校3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。調査内容は、「教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）」と「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」の2つです。

「教科に関する調査」結果の概況

この調査では、①基礎となる知識・技能等、②知識・技能などを実生活の様々な場面に活用する力に関わる内容から出題されます。本年度から①と②を一体的に問う形式へ変更されました。また、今年度は「英語」に関する調査も行われました。記述で「読むこと」「書くこと」、CDを使用し、「聞くこと」、音声録音で

全国学力・学習状況調査結果

■ 小学校の平均正答率（％）

	筑前町	福岡県	全国
国語	64.0	65.0	63.8
算数	65.0	67.0	66.6

■ 中学校の平均正答率（％）

	筑前町	福岡県	全国
国語	76.0	72.0	72.8
数学	61.0	59.0	59.8
英語	56.0	54.0	56.0

「話すこと」を実施しています。

小学校は国語が全国の平均正答率をわずかに上回りました。中学校は国語・数学は全国・県の平均正答率を上回り、英語は県以上、全国と同等でした。全体では、小学校は昨年度と同等、中学校は上昇しています。

「生活習慣や学習環境に関する質問紙調査」結果の概況

この調査は、児童・生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容です。

筑前町は、「地域」に関する項目で肯定的な解答が多いことが特徴です。小学生は「地域の行事に参加している」、中学生は「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」の項目で、全国や県の平均値を上回っています。地域への愛着をもち、発展を願う児童・生徒が育っていることが伺えます。このような児童生徒の姿は、小学校社会科地域副読本「わたしたちの筑前」の活用、小中合同で実施する「地域貢献活動（総合的な学習の時間）」

の取組、そして地域の方々の御協力・御支援によるものと考えます。



流しを放す幼虫の観察

また「教科に関する調査」において全国・県の平均正答率を約4ポイント上回った中学校の国語の学習に関しては、「国語の勉強は好き」「国語の勉強は大切」「学習したことは将来、役に立つ」等の項目で、全国や県の平均値を上回っています。これらのことから、生徒自身が学ぶ意義を実感していること、学習した知識・技能と実生活とをつなぐような授業の工夫がなされていることが平均正答率の高さに結びついたと考えます。

一方で、「自分には、よいところがあると思うか（自己肯定感）」、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあるか（達成感）」、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦しているか（挑戦心）」等の項目で、小・中学生ともに、肯定的な解答が少ないことが気になります。これらは子どもが自律的に成長

するための原動力であり、学力を支える基盤となるものです。これら以上に、子どもは「自分で目標を決め、粘り強く挑み続けること」、大人は「その姿を認め、励まし、見守ること」が大切であると考えます。

町の取組

今年度から教育委員会に「作業療法士」を配置しました。各学校を訪問して環境整備や支援のあり方などを教職員へ助言します。現在は、学習に集中することが難しい児童生徒の原因を分析し、必要な支援の助言を行っています。



作業療法士が小学校で講話する

また、町で実施している会議などを共有し、それぞれの活動の充実に活かすような取組を進めています。今年度は「学力実態分析部会」で明らかにした課題をもとに「小中合同研修会」での授業を公開し、協議していただきました。この取組で、町全体での授業改善が、また一歩進んだと考えています。